



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日鐵商事株式会社  
 コード番号 9810 URL <http://www.ns-net.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務法務部 担当部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 今久保 哲大  
 (氏名) 岩崎 文夫

TEL 03-6225-3500

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	760,825	△7.8	7,085	△16.0	7,066	△20.6	4,275	△17.3
24年3月期第3四半期	825,097	3.5	8,430	△8.0	8,897	△3.0	5,167	△6.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 4,221百万円 (33.4%) 24年3月期第3四半期 3,164百万円 (△32.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	31.79	—
24年3月期第3四半期	38.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	289,069	57,409	16.7
24年3月期	333,358	58,189	14.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 48,261百万円 24年3月期 49,250百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,070,000	△1.6	10,500	△2.3	10,500	△6.5	6,000	△12.7	44.61

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	134,801,000 株	24年3月期	134,801,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	314,607 株	24年3月期	309,291 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	134,488,778 株	24年3月期3Q	134,503,147 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、TDnetで平成25年1月31日に開示し、同日、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国が緩やかな回復を続けているものの、債務問題の長期化に伴う欧州景気の後退、中国等の新興国経済の減速などから、停滞局面が続きました。

また、我が国経済も、世界経済の減速傾向に加え、円高による輸出の減少、日中関係の冷え込みなどから力強い回復には至りませんでした。

鋼材需要については、内需は、船舶、建設機械などの製造業向けが減少したものの、公共投資により建設向けが増加しました。輸出は、世界経済の減速、アジア地域での鋼材需給の緩和、長引く円高により厳しい環境が続きましたが、震災影響により落ち込んだ前年水準からは回復しました。

このような状況の下、当社グループの業績は前年同期と比較し、売上高は642億円、7.8%の減収となる7,608億円となりました。営業利益は13億44百万円、16.0%の減益となる70億85百万円となりました。経常利益は、営業利益の減益に加え、持分法適用関連会社の減益もあり、18億30百万円、20.6%の減益となる70億66百万円となりました。四半期純利益は8億92百万円、17.3%の減益となる42億75百万円となりました。

報告セグメントの業績（セグメント利益は経常利益ベースの数値）は次のとおりであります。

#### （鋼材）

鋼材事業については、国内、海外ともに販売価格が需給緩和により下落したことから、単体の売上高は前年同期比減収となりましたが、販売数量では、国内、輸出向けともに、前年同期から増加しました。連結子会社は中国子会社が減収となったものの、国内コイルセンターの統合効果や、米国、タイの子会社の増収により、全体では増収となりました。これらにより、売上高は307億円、4.6%の減収となる6,412億円、セグメント利益は2億55百万円、4.8%の減益となる50億87百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、半成品を取り扱うセグメントを原燃料セグメントから鋼材セグメントへ変更しております。

#### （原燃料）

原燃料については、銑鉄の取扱いが増加したものの、ステンレス屑などの価格下落により、単体の売上高は前年同期比減収となり、資源価格の下落などにより、豪州における石炭権益を保有する子会社は減益となりました。これらにより、売上高は159億円、16.0%の減収となる840億円、セグメント利益は3億32百万円、21.4%の減益となる12億21百万円となりました。

#### （機材・産業機械）

機材については、新日鐵住金など鉄鋼メーカーの設備投資が引き続き抑制されたことから、単体およびクレーン製造、販売子会社とも、売上高は前年同期比減収となりました。

産業機械については、欧州景気の後退に伴いロシア向け建設機械、機械部品やパイプライン用鋼材などの輸出が減少し、建機関連事業を行うロシア子会社の売上高も減収となりました。

これらにより、売上高は175億円、33.0%の減収となる355億円、セグメント利益は12億42百万円、62.2%の減益となる7億56百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### （資産、負債、純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、売上高の減少や、債権流動化による売上債権の減少があり、前期末比442億円の減少となる2,890億円となりました。

負債合計は、主要仕入先に対する支払条件の変更や、売上高の減少に伴う仕入債務の減少により、前期末比435億円の減少となる2,316億円となりました。

純資産合計は、当第3四半期連結累計期間での四半期純利益の計上があったものの、配当金支払や種類株式Bの取得・消却の実施により、前期末比7億円の減少となる574億円となりました。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,860	16,201
受取手形及び売掛金	227,531	192,116
リース債権及びリース投資資産	4,586	3,090
商品及び製品	28,125	27,484
その他	10,671	9,669
貸倒引当金	△480	△506
流動資産合計	291,293	248,054
固定資産		
有形固定資産	18,143	17,774
無形固定資産		
のれん	10	—
その他	1,534	1,184
無形固定資産合計	1,544	1,184
投資その他の資産		
その他	22,913	22,423
貸倒引当金	△538	△367
投資その他の資産合計	22,375	22,055
固定資産合計	42,064	41,014
資産合計	333,358	289,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	177,255	139,994
電子記録債務	7,044	8,546
短期借入金	52,205	48,966
貿易債権流動化債務	2,917	2,963
未払法人税等	2,451	736
引当金	1,056	439
その他	8,508	8,563
流動負債合計	251,439	210,209
固定負債		
長期借入金	15,000	15,000
貿易債権流動化債務	4,312	2,180
引当金	1,338	1,381
その他	3,078	2,887
固定負債合計	23,729	21,449
負債合計	275,169	231,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,750	8,750
資本剰余金	8,750	8,750
利益剰余金	35,560	34,730
自己株式	△72	△73
株主資本合計	52,988	52,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	341	34
繰延ヘッジ損益	△46	△84
為替換算調整勘定	△4,032	△3,846
その他の包括利益累計額合計	△3,737	△3,895
少数株主持分	8,938	9,148
純資産合計	58,189	57,409
負債純資産合計	333,358	289,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	825,097	760,825
売上原価	790,424	727,592
売上総利益	34,673	33,233
販売費及び一般管理費	26,242	26,147
営業利益	8,430	7,085
営業外収益		
受取利息	224	266
受取配当金	116	125
為替差益	181	—
持分法による投資利益	476	361
その他	565	416
営業外収益合計	1,564	1,169
営業外費用		
支払利息	899	857
為替差損	—	61
その他	198	269
営業外費用合計	1,097	1,188
経常利益	8,897	7,066
特別利益		
負ののれん発生益	64	—
特別利益合計	64	—
特別損失		
投資有価証券評価損	244	125
退職給付制度改定損	—	65
ゴルフ会員権売却損	—	3
減損損失	77	—
特別損失合計	321	195
税金等調整前四半期純利益	8,640	6,871
法人税等	3,366	2,479
少数株主損益調整前四半期純利益	5,274	4,391
少数株主利益	106	116
四半期純利益	5,167	4,275

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,274	4,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△599	△307
繰延ヘッジ損益	76	△37
為替換算調整勘定	△1,370	96
持分法適用会社に対する持分相当額	△216	78
その他の包括利益合計	△2,110	△169
四半期包括利益	3,164	4,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,468	4,117
少数株主に係る四半期包括利益	△304	104



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月29日付で自己株式（種類株式B）400千株を4,000百万円で取得し、同日これを全株消却いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が4,000百万円減少しております。

なお、利益剰余金の当第3四半期連結累計期間の変動内容（要約）は以下のとおりであります。

	利益剰余金
平成24年3月31日 残高 (百万円)	35,560
当第3四半期連結累計期間中の変動額	
剰余金の配当	△1,105
四半期純利益	4,275
自己株式の消却	△4,000
当第3四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)	△829
平成24年12月31日 残高 (百万円)	34,730

(5) セグメント情報等

I 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、国内及び海外において鋼材、原燃料、機材等の商品の販売を行っており、取り扱う商品の種類ごとに販売部門を置き、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社は取扱商品を基礎とした商品別のセグメントから構成されており、「鋼材」、「原燃料」、「機材・産業機械」の3つを報告セグメントとしております。

各セグメントの主な取扱商品は以下のとおりであります。

「鋼材」 H形鋼、形鋼、鉄筋用棒鋼、線材、軌条、厚中板、熱延薄板、冷延薄板、表面処理鋼板、ブリキ、電磁鋼板、鋼管杭、各種鋼管、鋼矢板、土木建材、建築建材、建築工事、特殊鋼、ステンレス、チタン製品、半成品

「原燃料」 石炭、鋼屑、合金鉄、製鉄・製鋼用副原料、石油、潤滑油、バンカーオイル、コークス、非鉄地金、ステンレス屑

「機材・産業機械」 製鉄機械、土木・鉱山用機械、その他産業機械、プラント用鋼材、電気通信計測機器、クレーン、機械部品、圧延ロール、OA機器

なお、平成24年4月1日付の組織再編に伴い、第1四半期連結会計期間より、半成品を取り扱うセグメントを「原燃料」から「鋼材」へと変更しております。

II 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント(注)1				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鋼材	原燃料	機材・ 産業機械	計		
売上高						
外部顧客への売上高	671,994	100,040	53,063	825,097	—	825,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	1	7	△7	—
計	672,000	100,040	53,064	825,105	△7	825,097
セグメント利益	5,342	1,553	1,999	8,895	1	8,897

(注) 1 平成24年4月1日付の組織再編に伴う取扱品種の変更後の報告セグメント区分に基づく金額であります。

2 セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

III 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鋼材	原燃料	機材・ 産業機械	計		
売上高						
外部顧客への売上高	641,203	84,078	35,544	760,825	—	760,825
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	0	5	△5	—
計	641,207	84,078	35,545	760,831	△5	760,825
セグメント利益	5,087	1,221	756	7,065	1	7,066

(注) 1 セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。